



2024年11月14日

各位

会社名 株式会社トリドールホールディングス
(コード番号 3397 東証プライム市場)
代表者名 代表取締役社長 栗田 貴也
問合せ先 取締役 兼 CFO
兼 ファイナンス本部長 山口 聡
電話番号 03-4221-8900

第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異および
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月14日に公表した2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたこと、及び当該実績値をふまえて2025年3月期通期連結業績予想を修正したことにつきまして、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上収益	事業利益 (注1)	営業利益	税引前 中間利益	中間利益	親会社の所有者 に帰属する 中間利益	基本的 1株当たり 中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	130,570	9,310	8,660	7,760	4,770	4,220	46.22
実績 (B)	133,720	9,584	7,558	6,585	2,979	2,799	29.84
増減額 (B-A)	+3,150	+274	△1,102	△1,175	△1,791	△1,421	
増減率 (%)	+2.4%	+2.9%	△12.7%	△15.1%	△37.5%	△33.7%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期 第2四半期)	112,602	7,938	7,802	7,936	4,808	4,422	48.56

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前 利益	当期利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	265,000	18,100	14,100	12,300	7,560	6,460	69.71
今回修正予想 (B)	265,000	17,300	11,600	10,200	5,400	4,900	51.71
増減額 (B-A)	-	△800	△2,500	△2,100	△2,160	△1,560	
増減率 (%)	-	△4.4%	△17.7%	△17.1%	△28.6%	△24.1%	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	231,952	14,289	11,389	10,551	5,987	5,459	58.21

(注1) 事業利益：売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費

2. 業績予想値と実績値との差異および通期業績予想修正の理由

(1) 2025年3月期第3四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異

2025年3月期中間期の業績については、海外事業セグメントで大幅な減益となったものの、丸亀製麺の増益で吸収し、連結では中間期最高の事業利益となりました。

しかし、海外事業の不採算店舗で減損損失を計上したことに加えて、丸亀製麺の外部委託契約に関する一過性費用(注2) 11億85百万円をその他の営業費用に計上したことなどにより、営業利益が計画を下回りました。また、為替差損や支払利息等の金融費用も増加したことから、親会社の所有者に帰属する中間利益も計画を下回りました。

(注2)

当社は、過去数年間に渡り、「丸亀製麺」事業のブランディングに関する契約を外部業者(以下、相手方)と締結しておりましたが、様々な取り組みの結果、売上や客数の増加など一定の成果を上げましたので、2021年に支援サービスは終了いたしました。

当該契約及び支援サービス終了時の合意により、支援サービス終了後も、複数年にわたる期間の業績に応じた成功報酬を支払うことになっておりましたが、この度、契約の見直しを申し入れ、相手方に15億50百万円を一括で支払うことに改めて合意しました。

本件に関する会計処理については、当第2四半期に11億85百万円をその他の営業費用に計上し、3億65百万円を未払金から取り崩しました。

上記費用は一過性であり、本件に関する追加支払いは発生いたしません。

(2) 通期連結業績予想

2025年3月期の下期の見通しについて、売上収益は期初計画通りに進捗していることから据え置きました。

事業利益については、連結では順調に進捗したものの、セグメント別の実績は計画との乖離がありました。国内は丸亀製麺が金額、利益率ともに中間期最高を記録するなど、堅調に推移しました。一方で、増益を牽引すると想定していた海外事業は、不採算店舗等の収益改善をしましたが、中間期実績は前年同期および計画を大きく下回りました。当第2四半期からは各重点地域で赤字幅縮小などの改善が進んでいるものの、計画未達分の挽回について現段階では不確実性が大きいことから、連結の事業利益の計画を若干引き下げました。

また、減損損失とその他の営業費用については、中間期の前年同期比増加分を積み増しました。

それらの結果、営業利益は116億円(前期比1.9%増、期初計画比17.7%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益も49億円(前期比10.2%減、期初計画比24.1%減)とともに減益となる見通しです。

(参考)2025年3月期通期セグメント別業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：百万円)

売上収益	2025年3月期 期初計画	2025年3月期 修正計画	期初計画比		2024年3月期 実績
			増減額	増減率	
丸亀製麺	125,000	127,000	+2,000	+1.6%	114,856
国内その他	30,000	33,000	+3,000	+10.0%	28,460
海外事業	110,000	105,000	△5,000	△4.5%	88,637
連結	265,000	265,000	—	—	231,952

(単位：百万円)

事業利益	2025年3月期 期初計画	2025年3月期 修正計画	期初計画比		2024年3月期 実績 (注4)
			増減額	増減率	
丸亀製麺	18,500	21,000	+2,500	+13.5%	18,351
国内その他	4,300	4,300	—	—	4,451
海外事業	5,500	2,200	△3,300	△60.0%	2,724
調整額 (注3)	△10,200	△10,200	—	—	△11,236
連結	18,100	17,300	△800	△4.4%	14,289

(注3) 調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(注4) 当第2四半期において、海外事業セグメントの英国 Fulham Shore 社の2024年3月期の通期および中間期の販売管理費および事業利益を見直しました。事業利益の2024年3月期実績は、見直しを反映した後の金額です。

詳細につきましては、当社ホームページ (<https://www.toridoll.com/ir/>) 掲載の「2025年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料」を参照ください。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上